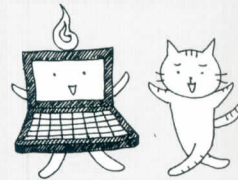


波多利朗の Funky Goods

課外講義・第二時限

「Poqet PC」で動作する日本語
FEP は「鳳」以外にもあった！

「SHARP PC-3000」と同様に
「EGBridge」が使用できる!!



注1) Madame Fatale 氏
もうおなじみのバーム
トッップ廃人。氏の存在がな
ければ、Poqet PCの日本語
化はなされなかっただろう。

「Poqet PC」は、そのマシンアーキテクチャーの特殊
性から、これまで日本語 FEP としては「鳳」しか動作
が確認できていなかった。

第一時限目の課外講義では、Madame Fatale 氏^(注1)
作成の「remapegb.com」によって「SHARP PC-
3000」上で「EGBridge Ver 3.11」が動作することを報
告したが、実は同氏が作成したもうひとつの専用ドラ
イバを使えば、Poqet PC でも念願の「EGBridge」が
使用できるようになる。

起動キーを異なったキーに割り振って くれる「remapegb.com」

Poqet PC に「EGBridge」を組み込む方法を、以下に
示す。

なお、筆者の環境では、A、B 両ドライブに 2 MB
の SRAM カードを導入している。

- ①「EGBridge」本体を SRAM カードにコピーする
日本語 FEP「EGBridge」は、ワープロソフトの「ア
シストワード」に添付されているので、まずこれを適
当なノートパソコン^(注2)にインストールする。

注2) 適当なノートパソコン
筆者は HP の「OmniBook
600C」を使用している。

注3)「remapegb.com」
このドライバは Poqet PC
専用である。ちなみに、CGA
PC 汎用のドライバが「rema
pegb.com」だ。

◎表1 config.sys ファイルの修正内容

```
files=20
buffers=20

shell=c:\command.com /e:1024 /p

device=a:\doscd\bcstdumy.sys
device=a:\doscd\fontman.exe -b5 -fa:\doscd\fontman.ini -d
device=a:\doscd\yadc.exe -jp ←日本語 CGA モードで起動する
device=a:\doscd\pansi.sys /k

device=a:\bin\mnfer.sys

device=b:\egbdosv.sys /B ←EGBridge を組み込む
```

次に、「EGBridge」本体を、Poqet PC の SRAM カー
ドにコピーする。今回は、B ドライブとして割り当て
た SRAM カードのルートディレクトリに、必要なファ
イルをコピーした。

B ドライブのルートディレクトリにコピーしたファ
イルは、以下のとおりである。

EGBDOSV SYS	70592	91-08-25	2:05
EGBED EXE	54074	90-01-29	12:05
EGBSET EXE	22300	91-05-17	18:40
EGDICM DIC	417977	89-01-11	18:19
EGDICU DIC	24576	80-01-01	0:11

- ②D ドライブ上の config.sys ファイルを修正する

Poqet PC は、D ドライブ上にある config.sys を参照
して起動しているため、このファイルを表1のように
修正する。

すなわち、SHARP PC-3000 の場合と同様に、「yadc」
のオプションで起動時の画面モードを25行表示の日本
語 CGA モードに設定し、B ドライブのルートにある
EGBridge デバイスドライバ「egbdosv.sys」を登録す
る。

/B オプションは、辞書ファイルが B ドライブのルー
トディレクトリにあることを指定している。

- ③「remapegb.com」^(注3)をコピーする

パスの通ったディレクトリに、Madame Fatale 氏作
成のソフトウェア「remapegb.com」をコピーする。こ
のソフトは、「EGBridge」を組み込んだあと、ALT +
= キーを押すことで FEP を起動させるためのものであ
る。

EGBridge の起動は、デフォルトの設定では Sft + 変
換キーに割り当てられているが、Poqet PC には変換
キーに相当するものがない。したがって、起動キーを
異なったキーに割り振る必要があり、この動作を行う
のが「remapegb.com」だ。

「remapegb.com」は、近日中に NIFTY-Serve の FSNOTE
データライブラリにアップされる予定である。





* 1) フロンティア神代

山口県熊毛郡田布施町天神に本社を置くコンピュータショップ。コンピュータ機器の開発製造・販売を行っている。東京、秋葉原にもショップを出している。連絡先は以下のとおり。

・田布施本店

〒742-15 熊毛郡田布施町天神

TEL 0820(52)1123

FAX 0820(52)5565

・秋葉原店

〒101 東京都千代田区外神田

3-11-2 ロック2ビル5F

TEL 03-5296-7836

FAX 03-5296-7838

なお、RT-21の掲載ホームページURLは、次のとおり。

<http://www.urban.or.jp/home/frontier/seihin/rt-21.html>

* 2) チンドラのコンパチ機

詳細は、本誌3月号「ゼロ・ハリの電脳遊戯倶楽部」を参照のこと。なお、同コンパチ機は、日本オフィスシステムからは「NP-10N」、鈴木製作所からは「SWIFT」、フロンティア神代からは「RT-21」の名称で販売された。

* 3) 鈴木製作所のホームページ

SWIFTが掲載されているURLは、以下のとおり。

<http://www.ssk.co.jp/nsw/nsw.htm>

* 4) 「Bicom SL60」

香港のパソコメメーカー、ABCコンピュータが発売したサブノートパソコン。はるか以前に、本誌にてご紹介した記憶がある。60MBのハードディスクを内蔵した製品で、画面は640×400のダブルスクリーンを採用していた。PCMCIAスロットが実装されていなかったのが残念なところである。

* 5) 「Omni Book 600C」

CPUにDX4-75MHzを採用し、260MBのType-3 PCMCIA HDDを内蔵したサブノートパソコンの傑作。Pop-up Mouseのアイデアは出色の出来だと考えているのは、筆者だけではない。これほどタッチタイプがやりやすいキーボードは、ほかにはないと思っている。バッテリーの持続時間に若干問題はあっても、のびやかで実用的なサブノートとして、筆者の評価は高い。

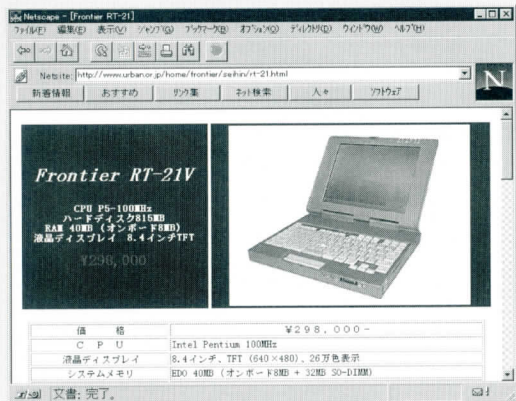


“一目惚れ”でチャンドラの同型機「RT-21」を購入してしまった!

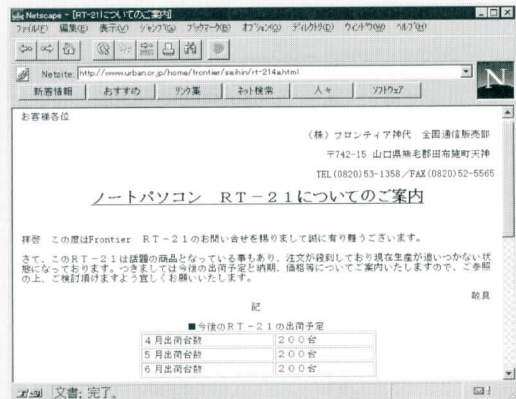
久しぶりに、サブノートパソコンを購入した。機種は、フロンティア神代(*1)の「RT-21」。そう、



▲フロンティア神代のホームページ。「RT-21」は4月出荷分よりスペックアップされるらしい。



▲「RT-21V」の案内のページ。スペックアップに伴い、型番も変更となる。ハードディスク容量の増加(500MBから815MBへ)が主な改良点だ。



▲「RT-21」の案内のページ。出荷台数予定や納期について書かれているが、4月から6月までの出荷台数は200台ずつに限定されており、まだ品薄状態が続いているようだ。

本誌3月号でゼロ・ハリ氏が紹介していたチャンドラのコンパチ機(*2)である。

このマシン、前回の拙稿(4月号掲載)の写真撮影でPC WAVE編集部を訪ねた際に、たまたまおられたゼロ・ハリ氏本人から見せていただいたのであるが、世に言う“一目惚れ”ってやつで、どうにもこうにも欲しくなってしまう。

●フロンティア神代でスナリと購入

そこで、同型機を「SWIFT」と命名して販売を行っている鈴木製作所のホームページ(*3)をチェックしたところ、次回予約受付は2月26日午後1時から電子メールとFAXにて行うとのこと。

2月26日午後1時キッカリにメールを送信したが、午後1時10分には、ホームページが予約完売の表示に更新され、受付を終了してしまったのには驚いた。この回の出荷台数が50台と、試作機並みに数量が少なかったこともあるが、それにしても10分で完売とは恐れ入った。よほど申し込みが多かったとみえ、筆者は選に漏れ、また次回となってしまった。

そんなときに、フロンティア神代でこれまた同型機を「RT-21」と命名して販売していることを知り、申し込んでみたところ、今度はスナリと購入することができたという次第である。

●OmniBookのキーボードが付けば……

筆者のノート歴は、東芝の「Dynabook J-3100 SS001」から始まり、初代「98 ノート」、ABCコンピュータの「Bicom SL60(*4)」、IBMの「Think Pad 220」、HPの「Omni Book 600C(*5)」と変遷を重ねてきた。いままで最もよく使用してきた機種が、HPのOmni Book 600Cである。このサブノート、非常によくできてはいるが、いかんせんDX4-75MHzのCPUはいまとなつては非力であり、またハードディスクやメモリの容量も十分ではないため、今回のRT-21の購入に踏み切った次第だ。

当分はこのRT-21と付き合うことになりそうだが、やはりキーボードの打ちやすさという点ではOmni Book 600Cにかなうものではない。RT-21にOmni Book 600Cのキーボードが付けば最強なのだが、そう思うのは贅沢だろうか?

